

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6382356号  
(P6382356)

(45) 発行日 平成30年8月29日(2018.8.29)

(24) 登録日 平成30年8月10日(2018.8.10)

(51) Int.Cl.		F I			
<b>HO4M</b>	<b>1/00</b>	<b>(2006.01)</b>	HO4M	1/00	K
<b>GO4G</b>	<b>21/00</b>	<b>(2010.01)</b>	GO4G	21/00	D

請求項の数 9 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2017-137 (P2017-137)	(73) 特許権者	310003669
(22) 出願日	平成29年1月4日(2017.1.4)		巨擘科技股▲ふん▼有限公司
(65) 公開番号	特開2018-74559 (P2018-74559A)		台湾新竹科学工艺园区新竹市研新四路6号
(43) 公開日	平成30年5月10日(2018.5.10)	(74) 代理人	110002262
審査請求日	平成29年1月4日(2017.1.4)		T R Y 国際特許業務法人
(31) 優先権主張番号	105135065	(72) 発明者	邱 丕良
(32) 優先日	平成28年10月28日(2016.10.28)		台湾新竹科学工艺园区新竹市研新四路6号
(33) 優先権主張国	台湾(TW)		

審査官 松平 英

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 腕時計、移動端末、通信提示システム及び方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信提示システムであって、

通信及びコミュニティソフトを設定するインターフェースを提供し、当該通信及びコミュニティソフトを設定するインターフェースは、通信及びコミュニティソフト選別の設定を行うインターフェースと、前記通信及びコミュニティソフトの連絡先選別の設定を行うインターフェースとを提供し、

ユーザーの前記通信及びコミュニティソフト選別の設定を行うインターフェース、及び前記通信及びコミュニティソフトの連絡先選別の設定を行うインターフェースを介して選んだ、通信及びコミュニティソフトと、前記通信及びコミュニティソフトの連絡先とを選別データとして記憶し、新しい着信又は新しい情報を受信すると、前記新しい着信又は前記新しい情報を伝送した伝送者を前記選別データと比較し、前記伝送者が前記選別データに含まれると判断した時、無線通信方式で要求提示信号を送信し、前記伝送者が前記選別データに含まれないと判断した時、要求提示信号を送信しないようにする移動端末と、

提示情報を提供するためのウェアラブルデバイスと、を備え、

前記ウェアラブルデバイスは、無線通信方式で前記移動端末の発した前記要求提示信号を受信することによって、前記提示情報を発する通信提示システム。

【請求項2】

前記移動端末は、前記ユーザーに提示モードを選択させるための提示モード選択インターフェースを提供する請求項1に記載の通信提示システム。

10

20

## 【請求項 3】

前記移動端末は、前記新しい着信又は前記新しい情報の出所タイプを判断し、異なる出所タイプに基づいて異なる要求提示信号を発生し、前記ウェアラブルデバイスが異なる提示情報を発生するようにする請求項 1 に記載の通信提示システム。

## 【請求項 4】

前記ウェアラブルデバイスは、腕時計又は腕輪を含む請求項 1 に記載の通信提示システム。

## 【請求項 5】

前記腕時計又は腕輪は、  
前記移動端末の送信した前記要求提示信号を受信するように前記移動端末と無線通信する無線通信モジュールと、  
前記無線通信モジュールから伝送される前記要求提示信号を受信することによって制御命令を発生するプロセッサユニットと、  
前記プロセッサユニットの前記制御命令により制御され、前記制御命令を受信した時、前記提示情報を発する提示器と、  
を備える機能モジュールを含む請求項 4 に記載の通信提示システム。

## 【請求項 6】

前記提示情報は振動提示情報を含む請求項 1 に記載の通信提示システム。

## 【請求項 7】

ディスプレイを含む移動端末であって、  
前記ディスプレイに表示され、  
通信及びコミュニティソフト選別の設定を行うインターフェースと、前記通信及びコミュニティソフトの連絡先選別の設定を行うインターフェースとを提供する、通信及びコミュニティソフトを設定するインターフェースと、  
ユーザーの前記通信及びコミュニティソフト選別の設定を行うインターフェース、及び前記通信及びコミュニティソフトの連絡先選別の設定を行うインターフェースを介して選んだ、通信及びコミュニティソフトと、前記通信及びコミュニティソフトの連絡先とを選別データとして記憶するための記憶手段と、  
前記移動端末が新しい着信又は新しい情報を受信した時、前記新しい着信又は前記新しい情報を伝送した伝送者を前記選別データと比較する比較手段と、  
前記移動端末は前記伝送者が前記選別データに含まれると判断した時、無線通信方式で要求提示信号を送信し、前記伝送者が前記選別データに含まれないと判断した時、要求提示信号を送信しないようにする無線信号送受信機と、  
を含む移動端末。

## 【請求項 8】

前記ディスプレイ上に表示され、提示モードを前記ユーザーに選択させる提示モード選択インターフェースをさらに備える請求項 7 に記載の移動端末。

## 【請求項 9】

ダイヤルと、少なくとも一つの実体針と、ムーブメントとを備え、前記ダイヤル上には実体の時間目盛りが設けられ、前記実体針は前記ダイヤルの上方に設けられ、前記ムーブメントは前記実体針を駆動するためのものであり、さらに、前記実体針は前記ダイヤル上の時間目盛りと合わせて時間情報を表示する腕時計であって、機能モジュールをさらに含み、前記機能モジュールは、  
要求提示信号を受信する無線通信モジュールと、  
前記無線通信モジュールから伝送される前記要求提示信号を受信して、制御命令を生じるプロセッサユニットと、  
前記プロセッサユニットの前記制御命令により制御され、前記制御命令を受信した時、提示情報を発する提示器と、を少なくとも含み、  
前記無線通信モジュールは、請求項 7 又は 8 に記載された移動端末の新しい着信又は新しい情報の出所タイプによって発生した異なる要求提示信号を受信し、前記提示器は、こ

10

20

30

40

50

これらの異なる要求提示信号に応じて、異なる提示情報を生じさせる腕時計。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、移動端末と合わせて使用される装置、及び移動端末と合わせて実現する方法に関し、特に、腕時計、移動端末、通信提示システム及び方法に関する。

【背景技術】

【0002】

現在のスマート腕時計は、スマートフォンと合わせることができ、スマート腕時計で着信提示の機能を実現し、スマートフォンが新しい着信又は新しいショートメッセージサービスを受信すると、ユーザーに新しい着信又は新しいショートメッセージサービスを受けたことを気付かせるように、提示情報を発したことをスマート腕時計に通知する。従来の技術は、ユーザーにこのような利便性を提供するが、幾つかの場合はしばしば却ってユーザーに面倒なこととなり、スマート腕時計の発した新しい着信又は新しいショートメッセージサービスの提示情報が頻繁過ぎると、却ってユーザーを邪魔することとなり、ユーザーにとって、従来の新しい着信又は新しいショートメッセージサービスの提示機能にはやはり不足があった。

10

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明の目的の一つは、新しい着信又は新しい情報の提示を行う必要がある連絡先をフィルタリングでき、ユーザー体験を向上させる腕時計、移動端末、通信提示システム及び方法を提供することである。

20

【0004】

上記目的を達成するために、本発明の一態様は、連絡先選別インターフェースを提供し、ユーザーの当該連絡先選別インターフェースを介して選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶し、新しい着信又は新しい情報を受信すると、当該新しい着信又は当該新しい情報を伝送した伝送者を当該連絡先選別データと比較し、当該伝送者が当該連絡先選別データに含まれると判断した時、無線通信方式で要求提示信号を送信する移動端末と、提示情報を提供するためのウェアラブルデバイスと、を備え、当該ウェアラブルデバイスは、無線通信方式で当該移動端末の発した当該要求提示信号を受信することによって、当該提示情報を発する通信提示システムを提供している。

30

【0005】

本発明の他の態様は、ディスプレイを含む移動端末であって、当該ディスプレイに表示され、連絡先リストにおける一つ又は複数の連絡先をユーザーに選択させるための当該連絡先リストを含む連絡先選別インターフェースと、当該ユーザーの当該連絡先選別インターフェースを介して選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶するための記憶手段と、当該移動端末が新しい着信又は新しい情報を受信した時、当該新しい着信又は当該新しい情報を伝送した伝送者を当該連絡先選別データと比較する比較手段と、当該移動端末は当該伝送者が当該連絡先選別データに含まれると判断した時、無線通信方式で要求提示信号を送信する無線信号送受信機と、を含む移動端末を提供している。

40

【0006】

本発明のまた他の態様は、ダイヤルと、少なくとも一つの実体針と、ムーブメントとを備え、当該ダイヤル上には実体の時間目盛りが設けられ、当該実体針は当該ダイヤルの上方に設けられ、当該ムーブメントは当該実体針を駆動するためのものであり、さらに、当該実体針は当該ダイヤル上の時間目盛りと合わせて時間情報を表示する腕時計であって、機能モジュールをさらに含み、当該機能モジュールは、要求提示信号を受信する無線通信モジュールと、当該無線通信モジュールから伝送される当該要求提示信号を受信して、制御命令を生じるプロセッサユニットと、当該プロセッサユニットの当該制御命令により制御され、当該制御命令を受信した時、提示情報を発する提示器とを少なくとも含み、当該

50

無線通信モジュールは、移動端末の新しい着信又は新しい情報の出所タイプによって発生した異なる要求提示信号を受信し、当該提示器は、これらの異なる要求提示信号によって、異なる提示情報を生じさせる腕時計を提供している。

【0007】

本発明のさらに他の態様は、ユーザーの連絡先選別インターフェースを介して選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶するステップと、新しい着信又は新しい情報を受信した時、当該新しい着信又は当該新しい情報を伝送した伝送者を当該連絡先選別データと比較するステップと、当該伝送者が当該連絡先選別データに含まれることが照合されると、無線通信方式で要求提示信号を送信するステップと、当該要求提示信号に応じて、提示情報を発するステップと、を含む通信提示方法を提供している。

10

【0008】

本発明では、移動端末をウェアラブルデバイス（例えば腕時計や腕輪）と合わせ、移動端末はユーザーの連絡先選別インターフェースを提供し、ユーザーはこのインターフェースを介して提示を送信すべき一つ又は複数の連絡先を選択し、移動端末が新しい着信又は新しい情報を受信した時、その伝送者がユーザーの選択した者であるか否かを判断し、ユーザーの選択した者であると、ウェアラブルデバイスが提示情報を発してユーザーに注意させる。本発明において、ユーザーは新しい着信又は新しい情報の提示を行わなければならない連絡先をフィルタリングでき、ユーザーの重要な着信又は情報の追隨に便利で、ユーザー体験を向上させることができる。一方、ユーザーは、電話、ショートメッセージサービスや通信、コミュニティソフトに対して異なる提示方式を設定することもでき、ユーザーの各種の付き合いに対する通信の把握に便利である。

20

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の実施例の腕時計の平面模式図である。

【図2】図1に示した腕時計の分解図である。

【図3】図1に示した腕時計の断面模式図である。

【図4】本発明の機能モジュールと移動端末の通信の構築模式図である。

【図5】本発明における連絡先選別インターフェースの一例である。

【図6】本発明における電話提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例である。

30

【図7】本発明におけるショートメッセージサービス提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例である。

【図8A - 8C】本発明における通信、コミュニティソフトの提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例である。

【図9】本発明の通信提示方法の流れ模式図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下、本発明の目的、技術案及び効果をより明らかなで、明確にするために、本発明について図面を参照し実施例を挙げながらより詳細に説明する。よく理解できるように、ここに記述した具体的な実施例は本発明を解釈するためのものであり、本発明の明細書で用いた用語「実施例」とは実例、示例又は例証として用いることを意味し、本発明を限定するためのものではない。また、本発明の明細書及び添付した特許請求の範囲で用いた冠詞「一」は、別に指定しない、又は文脈から単数形式であると明らかに確定できない限り、一般に「一つ又は複数」であると解釈できる。さらに、添付図面において、構造や機能が類似又は同一である素子は同一の素子符号で表れる。

40

【0011】

本発明は、腕時計、移動端末、通信提示システム及び方法に関し、移動端末が新しい着信又は新しい情報を受信した時、腕時計を介してユーザーへ提示情報を送信し、特に、これらの新しい着信又は新しい情報を選別することによって、ユーザーは提示すべき連絡先を選択することができ、新しい着信又は新しい情報がユーザーの設定した連絡先と合致す

50

る時、移動端末は提示情報を送信することを腕時計に通知する。

【0012】

腕時計について、以下の記述では本発明を従来の水晶時計に適用したことを例として例を挙げて説明するが、本発明の属する技術分野の当業者であれば、本発明の概念は従来の機械時計、電子時計又は他のタイプの従来の腕時計に実施可能であるだけでなく、スマート腕時計、スマート腕輪又は類似なウェアラブルデバイスにも実施可能であることを理解できるであろう。移動端末については、スマートフォン、タブレットコンピュータ又はその他の通信機能を有する携帯式装置であってもよい。

【0013】

図1、図2及び図3を参照すると、図1は本発明の実施例の腕時計の平面模式図を示し、図2は図1に示した腕時計の分解図を示し、図3は図1に示した腕時計の断面模式図を示している。本発明の実施例の腕時計は、時計表面11と、ダイヤル12と、ムーブメント13と、機能モジュール14と、時計ケース15と、クラウン16と、バッテリー17と、裏蓋18とを備える。時計表面11は透明な材質（ガラスなど）であり、ダイヤル12には実体の時間目盛り（1時～12時など）が設けられ、インジケータ（実体の時計針、分針及び秒針など）はダイヤル12の上方に配置され、インジケータはムーブメント13で駆動され、さらにダイヤル12上の時間目盛りと合わせて時間を表し、ユーザーは透明な時計表面11を介してインジケータの指示した位置情報（即ち時間情報）を認識することができる。時計ケース15と裏蓋18は、腕時計の内部の機械構造及び/又は電子装置を保護するためのものであり、時計ケース15、裏蓋18、及びダイヤル12（又は時計表面11）は、ムーブメント13、機能モジュール14及びバッテリー17を収容するための収容空間を構成する。腕時計の側面には、クラウン16がさらに設けられ、ユーザーはクラウン16における撮みを回転することによって時間を調整したり目覚まし時間を設定したりすることができる。バッテリー17は、ムーブメント13及び/又は機能モジュール14に必要な電力を与える。この実施例において、機能モジュール14は腕時計内の収容空間に設けられる。しかし、他の実施例において、機能モジュール14は、腕時計のその他の位置、例えば腕時計のバンドに設けられてもよい。機能モジュール14は、移動端末と合わせて、新しい着信又は新しい情報の提示機能をユーザーに提供するためのものである。

【0014】

本発明の図1～図3から分かるように、時計表面11、ダイヤル12、ムーブメント13、時計ケース15、クラウン16、バッテリー17及び裏蓋18は、設計上で異なっても、それらの機能は従来の腕時計と類似しており、特に水晶時計の構築に相当する。ただ、周知技術と異なるのは、本発明の実施例の腕時計がさらに機能モジュール14を含んだことである。つまり、従来の水晶時計における残り空間を利用してこの機能モジュール14を実装でき、或いは、水晶時計の空間配置をさらに改善してこの機能モジュール14を収容でき、さらに、移動端末と合わせて新しい着信又は新しい情報を提示する機能を達成し、従来の腕時計をスマート化する。同じように、本発明の機能モジュール14は、機械時計、電子時計又は他のタイプの従来の腕時計にも配置されて、スマート化の機能を持たせることができ、その概念は水晶時計の実施例と類似であるため、さらに記述しない。

【0015】

本発明の実施例において、バッテリー17は、ムーブメント13や機能モジュール14へ電力を供給でき、つまり、ムーブメント13及び機能モジュール14（及び腕時計内のその他の電子装置）はバッテリー17に蓄積された電力を同時に利用できる。他の実施例において、ムーブメント13と機能モジュール14は、互いに個別なバッテリーと電力供給システムを備えてもよく、即ち、ムーブメント13と機能モジュール14は異なるバッテリーにより電力供給される。

【0016】

図2に示すように、機能モジュール14は、電気的接続基板141と、電気的接続基板141上に設けられたパッケージ142とを備える。図4は、本発明の機能モジュール1

10

20

30

40

50

4と移動端末45の通信の構築模式図を示している。図1～図3と共に図4を参照すると、本発明の機能モジュール14のパッケージ142内には、プロセッサユニット41と、提示器42と、無線通信モジュール43とが含まれる。プロセッサユニット41、提示器42及び無線通信モジュール43は、電気配線基板141上で単一(monolithic)パッケージ構造、例えばシステム・イン・パッケージ(System in Package; SiP)構造に封止されてもよく、単独に封止、或いは両者を整合して封止してもよく、そして同じ又は異なる電氣的接続基板上の配線構造によって電気信号の伝達を実現する。電気配線基板141は、柔軟性又は硬性の多層基板であってもよいが、複数の金属層及び複数の誘電層を有し、金属層は電気信号を伝達するように、各々誘電層間に分布され、誘電層は、例えばポリイミド(polyimide)を材料とし、スピコート法(spin coating)で形成される。移動端末45は、無線信号を送受信するための無線信号送受信機46を備え、無線信号送受信機46は、例えばブルートゥース(Bluetooth)(登録商標)送受信機又はNFC(Near Field Communication、近接場通信)送受信機であってもよい。

#### 【0017】

機能モジュール14における無線通信モジュール43は、移動端末45の無線信号送受信機46と接続されて通信可能な通信モジュール、例えばブルートゥース通信モジュール又はNFC通信モジュールである。機能モジュール14における提示器42は、ユーザーへ提示情報を発するためのものであり、この提示情報は、振動、光や音声であっても構わない。例を挙げると、提示器42は、長い振動、短い振動又はその他の振動形式、或いは組合せを発生する振動モーターを含んでもよい。また、提示器42は、光線を発する方式でユーザーに気付かせる発光ダイオード(LED)を含んでもよい。さらに、提示器42は、音声を発する方式でユーザーに気付かせる音声発生装置(スピーカーなど)を含んでもよい。提示器42は、振動、光や音声のいずれの組合せの形式で提示情報を送信してもよい。

#### 【0018】

以下、続いて図1～図3と共に図4を参照すると、本発明の通信提示システムは、移動端末45と、ウェアラブルデバイス(例えば上記の腕時計、或いは、上記の機能モジュール14の腕輪、又はその他の同一又は類似な機能を有するスマート腕輪を含む)とを含むことができる。具体的に、例を挙げると、本発明の通信提示機能は、移動端末45及び当該腕時計の機能モジュール14により達成できる。移動端末45は、無線信号送受信機46と、ディスプレイ47と、記憶手段50と、比較手段51とを備える。ディスプレイ47には、連絡先選別インターフェース画面48と提示モード選択インターフェース画面49が表示される。本発明の通信提示機能の詳細は次の通りである。

#### 【0019】

移動端末45は、連絡先選別インターフェース画面48(図5に示すように)を提供し、ユーザーは、当該連絡先選別インターフェース画面48を介して提示を送信すべき一つ又は複数の連絡先を設定でき、移動端末45は、ユーザーの当該連絡先選別インターフェース画面48を介して選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶し、その記憶手段50に記憶し、当該連絡先選別データは、ユーザーの設定した一つ又は複数の連絡先を含む。上記の連絡先選別インターフェース画面48は、移動端末45にインストールしたアプリケーション・プログラム(APP)を介してユーザーに与えてもよい。例を挙げると、図5に示すように、当該連絡先選別インターフェース画面48は全ての連絡先を並べ、ユーザーはリストにおけるある一つの連絡先をクリックすることによって、いずれか連絡先に対する選択/解除の動作を行うことができる。この連絡先リストは、スマートフォン電話帳の連絡先であってもよく、通信ソフト又はコミュニティソフトの連絡先であってもよい。つまり、ユーザーは、スマートフォンの着信又はショートメッセージサービスを提示する連絡先を選別でき、通信、コミュニティソフトの連絡先をも選別できる。

#### 【0020】

移動端末45が新しい着信又は新しい情報を受信した時、比較手段51を介して当該新

10

20

30

40

50

しい着信又は当該新しい情報を伝送した伝送者を当該連絡先選別データと比較し、比較手段51が当該伝送者が当該連絡先選別データに含まれると判定した時、移動端末45は無線信号送受信機46を介して無線通信方式で要求提示信号を送信する。上記の新しい着信又は新しい情報は、スマートフォン着信、ショートメッセージサービス又は通信、コミュニティソフトの着信や情報であってもよく、且つ、その通信内容は、文字、音声や映像の形式に限定されるものではない。比較過程において、伝送者の名称と連絡先選別データにおける連絡先の名称との比較に限らず、例えば電話番号のような他のデータを比較してもよい。

#### 【0021】

当該ウェアラブルデバイス（又は腕時計）は提示情報を提供するためのものであり、当該ウェアラブルデバイスは移動端末45の発した当該要求提示信号を受信した時、当該ウェアラブルデバイスは当該提示情報を発する。当該要求提示信号は、移動端末45とウェアラブルデバイスが約束した方式で符号化/復号化することができるため、ウェアラブルデバイスは移動端末45の伝送した当該要求提示信号を認識でき、当該要求提示信号を受信した時、設定しておいた動作を実行する。

#### 【0022】

上記した腕時計の機能モジュール14として、移動端末45の送信した当該要求提示信号を受信するように、無線通信モジュール43を介して移動端末45の無線信号送受信機46と無線通信を行う。また、プロセッサユニット41は、無線通信モジュール43と結合され、無線通信モジュール43から伝送される当該要求提示信号を受信し、これによって制御命令を発生する。提示器42は、当該プロセッサユニット41の制御命令により制御され、提示器が当該制御命令を受信した時、提示情報を発する。

#### 【0023】

図6を参照すると、本発明において電話提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例を示す。この設定インターフェースは、移動端末45にインストールしたアプリケーション・プログラム（APP）により提供でき、移動端末45のディスプレイ47（図4に示す）上に表示される。図6に示すように、ユーザーは、電話の着信提示機能をオン/オフでき、「連絡先選別設定」の下で電話帳リストから提示すべき連絡先を選択でき、ユーザーの選んだ連絡先から着信があると、ウェアラブルデバイス（又は腕時計や腕輪の機能モジュール14）は提示情報を発することとなる。ユーザーは、このインターフェースを介して提示情報の表現形式を選択してもよい。例えば、ユーザーの選んだ連絡先から着信があった時、提示器42は2回の振動を行う。図7は、本発明においてショートメッセージサービス提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例を示し、ショートメッセージサービス提示のフィルタリング機能は図6に示す電話提示のフィルタリング機能と類似しており、ショートメッセージサービス提示のフィルタリング機能がユーザーの受信したショートメッセージサービスに対して連絡先のフィルタリングを行うが、さらに詳しくは述べない。

#### 【0024】

図8A～図8Cを参照すると、本発明において通信、コミュニティソフトの提示をフィルタリングする設定インターフェースの一例を示す。このインターフェースにおいて、ユーザーは、「通信及びコミュニティソフト選別設定」により提示させてもらいたい通信、コミュニティソフト種類を設定することができる。例えば、図8Cに示すように、ユーザーは、選択しようとするソフトを、通信、コミュニティソフトリストから既に選定したソフトを選定領域にドラッグすることができ、図8CはユーザーがLINE及びFacebookを選択して利用することを示し、ユーザーは、選択を解除するために選択したソフトを押し、そのまま取り消して選択肢へドラッグすることができる。選定した通信、コミュニティソフトは、これらのソフトに対して新しい着信又は新しいショートメッセージサービスの送達提示を実行することを表す。ユーザーは、「連絡先選別設定」によりそれぞれの通信、コミュニティソフトに対して連絡先を選別する動作を行うこともでき、それは電話の連絡先の選別と類似であるため、さらに詳しくは述べない。

## 【 0 0 2 5 】

ユーザーは、電話、ショートメッセージサービスや通信、コミュニティソフトの提示に対して異なる提示情報を設定することができる（図 4 に示す提示モードによってインターフェース画面 4 9 を選択する）。つまり、提示の表現方式が異なる。例を挙げると、電話に対する提示は、2 回の長い振動を利用でき、ショートメッセージサービスの提示は、1 回の短い振動を利用でき、通信、コミュニティソフトの提示は、1 回の長い振動を利用できる。このように、ユーザーは異なる提示情報を感知すると、それが電話、ショートメッセージサービス又は通信、コミュニティソフトのいずれかに対して発した提示であるかを分けることができ、ユーザー体験を向上させる。

## 【 0 0 2 6 】

これに対し、移動端末 4 5 は、新しい着信又は新しい情報の出所タイプも判断し、異なる出所タイプに応じて異なる要求提示信号を発生し、ウェアラブルデバイス（又は腕時計の機能モジュール 1 4 の提示器 4 2）は異なる提示情報を発生するようになる。異なる通信、コミュニティソフトは、同一タイプと見なすことができ、異なる出所タイプ（例えば LINE や Facebook は異なるタイプ）に判定されてもよく、この判断の原則もユーザーにより自己設定又は分類することができる。

## 【 0 0 2 7 】

図 1 ~ 図 4 と共に図 9 を参照すると、以下では上記内容と共に本発明の提供する通信提示方法の各流れを説明する。

## 【 0 0 2 8 】

ステップ S 9 0 では、ユーザーの移動端末 4 5 のディスプレイ 4 7 に表示された連絡先選別インターフェース画面 4 8 を介して選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶する。ユーザーは、連絡先選別インターフェース画面 4 8 を介して提示を送信すべき一つ又は複数の連絡先を設定でき、移動端末 4 5 は、ユーザーの選んだ連絡先を連絡先選別データとして記憶し、その記憶手段 5 0 に記憶する。

## 【 0 0 2 9 】

ステップ S 9 2 では、移動端末 4 5 は新しい着信又は新しい情報を受信すると、当該新しい着信又は当該新しい情報を伝送した伝送者とステップ S 9 0 で記憶した当該連絡先選別データとを比較する。ステップ S 9 2 は、移動端末 4 5 の比較手段 5 1 で行うことができる。

## 【 0 0 3 0 】

ステップ S 9 4 では、当該伝送者が当該連絡先選別データに含まれることが照合されると、無線通信方式で要求提示信号を送信する。具体的に、移動端末 4 5 は、無線信号送受信機 4 6 を介して無線通信方式で当該要求提示信号をウェアラブルデバイスへ送信する。

## 【 0 0 3 1 】

ステップ S 9 6 では、当該ウェアラブルデバイスは、当該要求提示信号に応じて、提示情報を発する。具体的に、当該ウェアラブルデバイスは、移動端末 4 5 の発した当該要求提示信号を受信できる無線送受信機も含む。当該ウェアラブルデバイスは、当該要求提示信号に応じて、例えば振動のような提示情報を発することができる提示器をさらに含む。

## 【 0 0 3 2 】

本発明では、移動端末をウェアラブルデバイス（例えば腕時計や腕輪）と合わせ、移動端末はユーザーの連絡先選別インターフェースを提供し、ユーザーはこのインターフェースを介して提示を送信すべき一つ又は複数の連絡先を選択し、移動端末が新しい着信又は新しい情報を受信した時、その伝送者がユーザーの選択した者であるか否かを判断し、ユーザーの選択した者であると、ウェアラブルデバイスが提示情報を発してユーザーに注意させる。本発明において、ユーザーは新しい着信又は新しい情報の提示を行わなければならない連絡先をフィルタリングでき、ユーザーの重要な着信又は情報の追隨に便利で、ユーザー体験を向上させることができる。一方、ユーザーは、電話、ショートメッセージサービスや通信、コミュニティソフトに対して異なる提示方式を設定することもでき、ユーザーの各種の付き合いに対する通信の把握に便利である。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 3 3 】

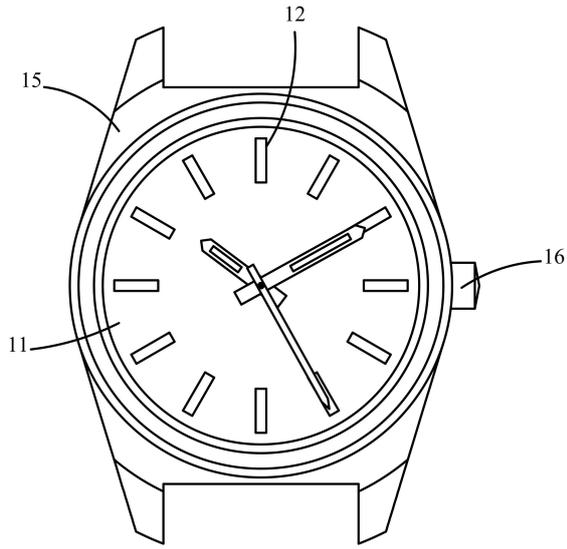
以上のように、本発明は好ましい実施例により開示されたが、これは本発明を限定するものではなく、本発明の属する技術分野における当業者であれば、本発明の要旨を逸脱しない精神及び範囲内において、種々の変更と潤色が可能であることは勿論であるため、本発明の保護範囲は添付する特許請求の範囲により準拠される。

## 【 符号の説明 】

## 【 0 0 3 4 】

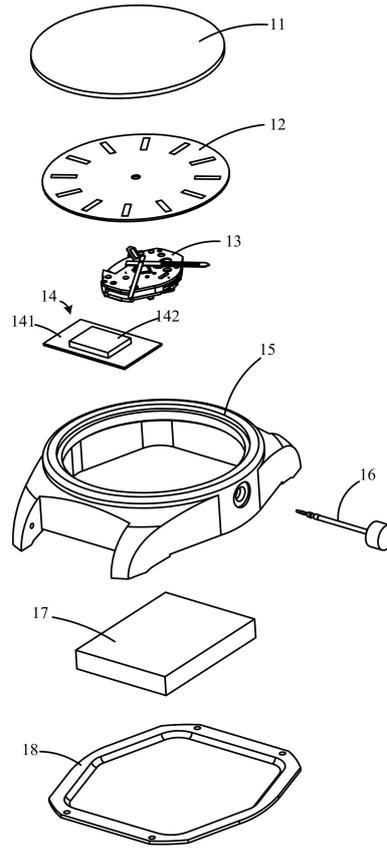
1 1	時計表面	
1 2	ダイヤル	
1 3	ムーブメント	10
1 4	機能モジュール	
1 5	時計ケース	
1 6	クラウン	
1 7	バッテリー	
1 8	裏蓋	
4 1	プロセッサユニット	
4 2	提示器	
4 3	無線通信モジュール	
4 5	移動端末	
4 6	無線信号送受信機	20
4 7	ディスプレイ	
4 8	連絡先選別インターフェース画面	
4 9	提示モード選択インターフェース画面	
5 0	記憶手段	
5 1	比較手段	
1 4 1	電氣的接続基板	
1 4 2	パッケージ	
S 9 0 ~ S 9 6	ステップ	

【図1】



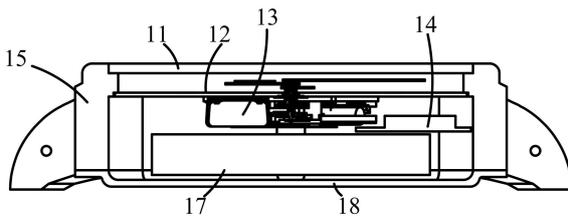
第1圖

【図2】



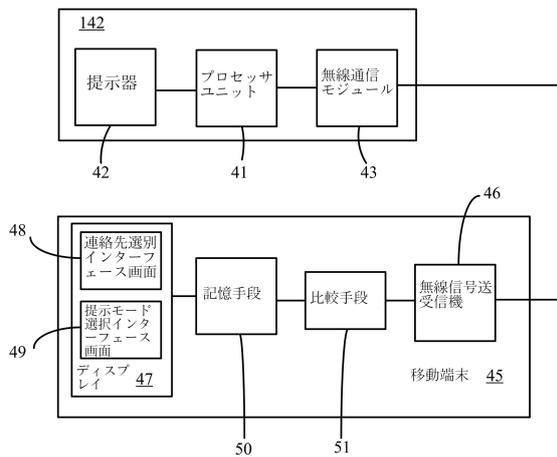
第2圖

【図3】



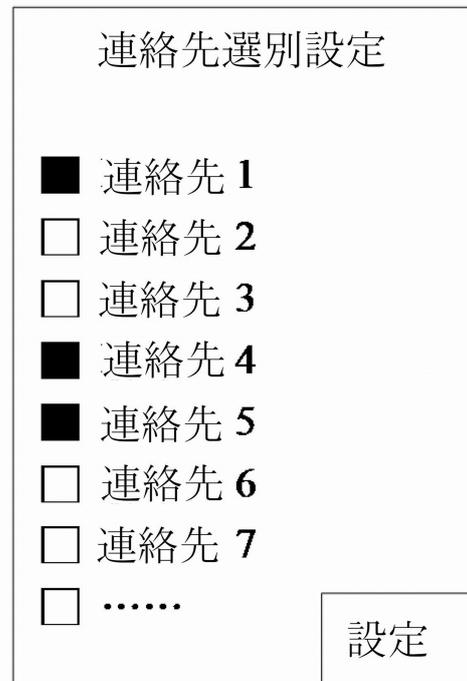
第3圖

【図4】



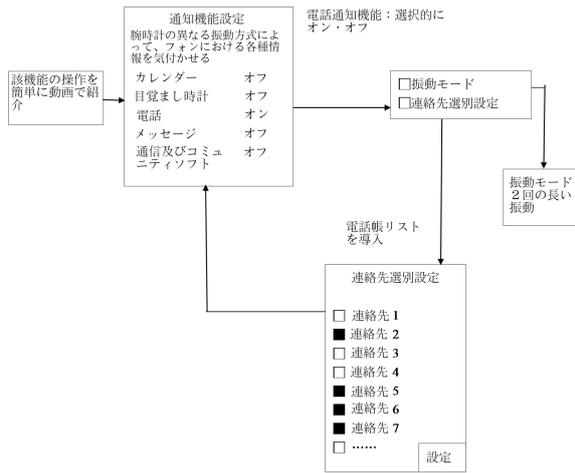
第4圖

【図5】



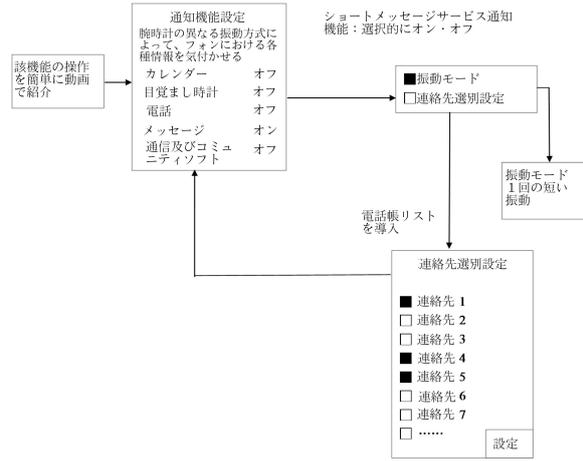
第5圖

【図6】



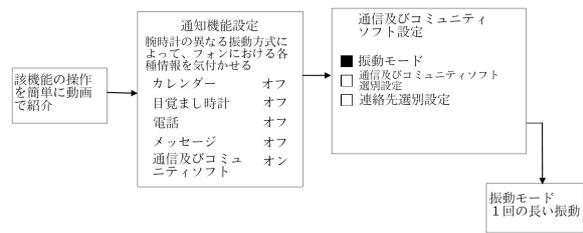
第6圖

【図7】



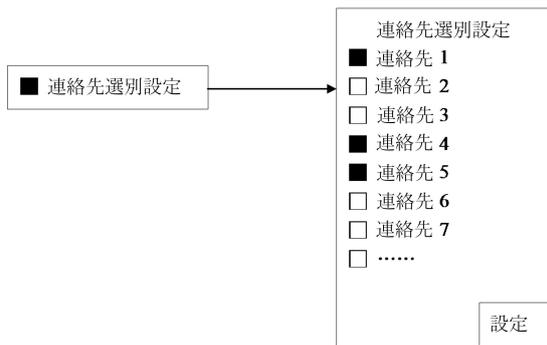
第7圖

【図8A】



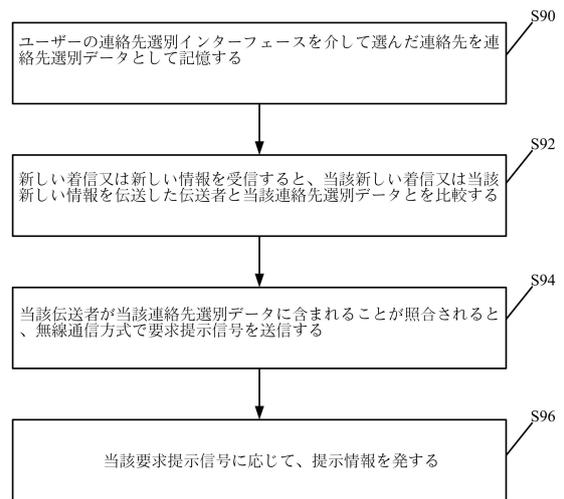
第8A圖

【図8B】



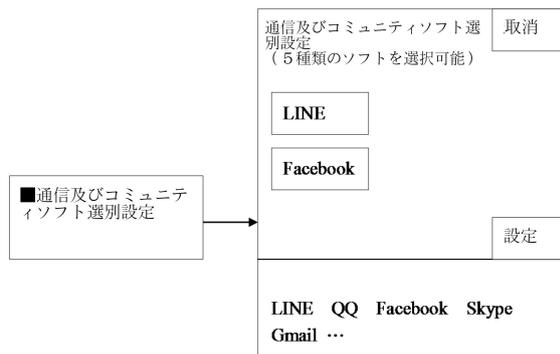
第8B圖

【図9】



第9圖

【図8C】



第8C圖

## フロントページの続き

(56)参考文献 国際公開第2014/050996(WO, A1)

特表2016-512671(JP, A)

特開2002-244980(JP, A)

特開2004-236214(JP, A)

特開2008-005134(JP, A)

特開2010-130183(JP, A)

特開2015-082818(JP, A)

特開2015-099974(JP, A)

特開2015-139132(JP, A)

特開2002-261967(JP, A)

特開2007-020084(JP, A)

特表2015-517757(JP, A)

子供の科学, 日本, 株式会社誠文堂新光社, 2003年 6月 1日, 第66巻 第6号, p.  
4~11

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G04G 3/00 - 99/00

H04B 7/24 - 7/26

H04M 1/00

1/24 - 3/00

3/16 - 3/20

3/38 - 3/58

7/00 - 7/16

11/00 - 11/10

99/00

H04W 4/00 - 99/00